

農業用殺虫剤

トレボン[®] 乳剤

有効成分:エトフェンブロックス[PRTR・1種64]…20.0%
その他のPRTR該当成分:キシレン[PRTR・1種80]…77.4%

ラベルの
記載以外には
使用しないで
ください。

栽培する作物、
発生する害虫に
合わせてご使用
ください。

トマト
コナジラミ類

きゅうり
コナジラミ類
アブラムシ類

ピーマン
アブラムシ類

ばれいしょ

オクラ
アブラムシ類
カメムシ類

レタス

すいか
アブラムシ類
コナジラミ類
ハスモンヨトウ
ヨトウムシ

ふき
コナジラミ類
フキノメイガ
ヨトウムシ

なす
コナジラミ類
アブラムシ類

キャベツ

稲
コブノメイガ、
ツマグロヨコバイ
ウンカ類、
イネドロオイムシ、
イナゴ類
カメムシ類
イネミズゾウムシ

さやいんげん
ワタアブラムシ
ウラナミシジミ
マメノメイガ

えだまめ
マメシクイガ
シロイチモジマダラメイガ
ダイズサヤタマバエ
カメムシ類
フタスジヒメハムシ
ウコンノメイガ
ツメクサガ
ハスモンヨトウ

はくさい
アオムシ、
コナガ、
ヨトウムシ、
アブラムシ類

だいこん

しょうが 葉しょうが
ハスモンヨトウ

実えんどう さやえんどう
シロイチモジヨトウ
ヨトウムシ
ウラナミシジミ

メロン
アブラムシ類
コナジラミ類

ねぎ
シロイチモジヨトウ

かんきつ

さといも さといも(葉柄)

未成熟 ささげ
アブラムシ類

コアオハナムグリ
ケシキスイ類
ミカンハモグリガ
チャノキイロアザミウマ

モロヘイヤ
アザミ
ウマ類

せりうど
アブラムシ類

豆類(種実)
アズキノメイガ
マメシクイガ、アブラムシ類
シロイチモジマダラメイガ
ダイズサヤタマバエ、カメムシ類
フタスジヒメハムシ
ハスモンヨトウ、ウラナミシジミ

あずき
ノメイガ類

ゆり

とうもろこし
アワノメイガ
アワヨトウ

かんしょ
ナカジロシタバ
アブラムシ類
ハスモンヨトウ

あしたば

だいず
ウコンノメイガ
ツメクサガ

きく
アブラムシ類

カーネーション

やまのいも やまのいも(むかご)
アブラムシ類
ヤマノイモコガ
ハスモンヨトウ

樹木類
ケムシ類
シャクトリムシ類
オビカレハ

つつじ類
ツツジグンバイ

みずいも
オキナフイナゴモドキ

茶

チャノホソガ、
チャノミドリヒメコバエ
チャノキイロアザミウマ

小麦
ヒメトビウンカ
アブラムシ類

かぼちゃ
コナジラミ類
ウリハムシ

にがうり
アブラムシ類、ウリノメイガ
カメムシ類、コナジラミ類
ヨトウムシ類

休耕田
カメムシ類

Très bon とても 良い

名は剤を表す

トレボンの語源はフランス語の「Très bon」です。

適用拡大!! かぼちゃ:ウリハムシ
だいず、えだまめ :ツメクサガに適用拡大

●適用害虫名と使用方法

(平成29年9月27日付拡大登録内容含む)

Table with columns: 作物名・適用場所, 適用害虫名, 希釈倍数(倍), 10a当たり使用量, 使用時期, 使用回数※1, 使用方法, 作物名・適用場所, 適用害虫名, 希釈倍数(倍), 10a当たり使用量, 使用時期, 使用回数※1, 使用方法. It lists various crops like rice, soybeans, and vegetables with their respective pest control methods and product concentrations.

※1 本剤の使用回数および、エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数を示す。 ※2 ガラス室等の施設での水耕栽培 ※3 ヨシ、オギ、スキ、セイクアカワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田

▲ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
●本剤を本田の水稲に対して希釈倍数300～600倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型/速度運動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
●本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類がふえることがあるので注意してください。
●ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布してください。
●水耕栽培に使用する場合は、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理してください。
●さくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のワタアブラムシでは効果が劣ることがあるため使用をさけてください。
●採種用とうきを使用する場合は、根及び葉を収穫せず、種子の収穫に限って使用してください。
●蚕に対して長期間毒性があるので、近くに養蚕場がある場合には絶対に養蚕場にかからないようにしてください。 ●散布器具、作業衣等は薬用と必ず区別してください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
①ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
●水産動物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用は避けてください。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こす恐れがあるので、十分注意してください。
●散布後は水管理に注意してください。
●使用済みの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
●誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
●本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調整時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
●原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
●散布の際は手袋、長スボン、長袖の作業衣などを着用してください。
●作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔、うがいをしてください。
●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
●本剤は自動車等の塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
●本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬物の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意してください。保管:火気を避け、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。皮膚などに付着した場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。
●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●本剤は小児の手の届く所に置かないでください。 ●容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。
●防除日誌を記載しましょう。

